

## 児童生徒の「主体的な学び」を促す授業実践

### 1 基本情報

- ◇各教科等 自立活動
- ◇学部・学年 小学部 第2・3学年
- ◇単元名 身体を動かそう
- ◇単元の目標
  - ・色々な姿勢を保持する力を身につける。
  - ・自分から体を動かそうとする。
- ◇付けたい力
  - ・自分の身体に気づき、自分で動かして楽に呼吸ができる身体を作る。
- ◇本時の目標
  - ・しっかり膝をつけて前傾姿勢をとることができる。
  - ・自分から頭や首を動かそうとすることができる。

#### ◇生徒の実態

体調が良い時は呼吸が安定し、色々な活動に主体的に参加できやすい。

定頸がまだ確立していないので、首の動きに気をつけながら活動している。首や体幹のストレッチを行いながら、身体の状態を覚醒させていくと、音や雰囲気を感じとって表情で気持ちを表すことができる。本学年の児童の主体的な学びを促すためには、毎日の身体づくりが欠かせない。

### 2 期待する児童生徒の姿

- ・色々な姿勢をとる中で自分の身体に気づき、自ら身体を動かそうとする姿
- ・色々な姿勢をとる中で、自分の身体を保持しようとする姿
- ・「やりたい」気持ちを声や表情で表出する姿

### 3 指導者が捉えた児童生徒の「主体的な学び」

・ロールマットや膝立ちでは、「あたまをあげて！」の言葉かけを聞いて、首を動かす場面がどの児童にもあり、一所懸命動かそうとしている姿があった。首のコントロールが難しく、頭をあげすぎて気管に唾液が流れ込みそうになり、むせる場面があったので、頭をここまであげるとよいといった支援が必要であった。

・参観者がいたことで児童の意欲が増し、いつも以上に頑張ろうとする姿が印象的であった。言葉かけをよく聞いているので、しっかり賞賛しながら行っていくことが必要である。言語の表出は難しいが、内面は豊かで内言語が育っているように感じる。人とのやりとりも大事にしながら、色々な姿勢、色々な活動の経験を積んで、「ほめられてうれしい！もっとがんばろう！」とする力を育てていきたい。